

# 統計スポット情報

No. 169

22. 5. 28

福井県総合政策部政策統計課



## — 統計（人口等）で見る世界と福井県 —

平成22年は、日本の人口などをとらえる5年に一度の国勢調査が実施される年です。

また、来月には、アジア・太平洋地域の21の国・地域の代表者が福井県に集まり、2010年日本APECエネルギー大臣会合が開催されます。

そこで今回は、この2つの大きな行事にちなみ、人口関係の統計を中心に、福井県と世界各国・地域を比較したデータを紹介したいと思います。

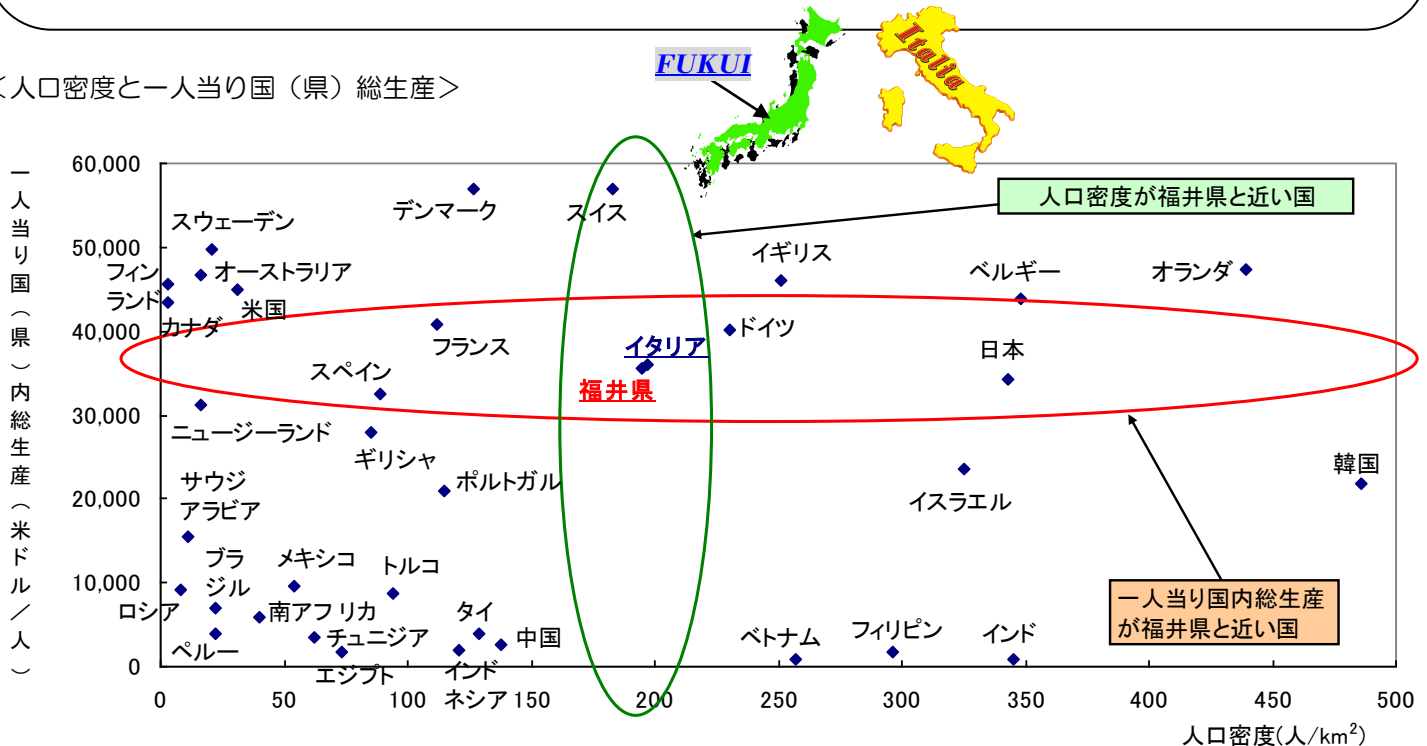
### ○「実は似ている!? 福井県とイタリアの意外な類似点」(人口密度と一人当り県内総生産)

平成19年(度)の一人当り国(県)内総生産(ドル表示)を見ると、福井県は35,564ドルで日本は34,307ドルと大きな差はありませんが、人口密度(平成19年)を見ると、日本が343人/km<sup>2</sup>であるのに対し、福井県は195人/km<sup>2</sup>(全都道府県中32番目)と大きな開きがあります。

これを世界各国と比較すると、人口密度では、日本はベルギーやインドなどの国と数値が近く、福井県はイタリアやスイスと近くなっています。

さらに一人当り国(県)内総生産を比較すると、日本、福井県と近いのはイタリアやスペインなどとなり、人口密度と一人当り国(県)内総生産の両方で福井県とイタリアの数字は非常に近いことがわかります。

<人口密度と一人当り国(県)総生産>



	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	一人当り 国(県)内総生産 (米ドル/人)
日本	343	34,307
福井県	195	35,564
イタリア	197	35,914

※ 出典：各国、日本の人口密度、一人当り国内総生産は「世界の統計2010(総務省統計局)」(データ元は国際連合)、福井県の人口密度は「社会生活統計指標(総務省統計局)」掲載の2007年データ。福井県の一人あたり県内総生産は、「平成19年度福井県民経済計算」の結果から算定した2007年度データ。

<平均寿命の比較>

	平均寿命(歳)	
	男	女
日本	79	86
福井県	79	86
イタリア	79	84



イタリアは、海と山に囲まれた自然が豊かな国で長い歴史があり、世界のファッションをリードする国としても知られていますが、福井県も同様に豊かな自然と歴史、そして繊維や眼鏡など、ファッションに関係の深い地場産業があります。また、長寿の国・県であることやスキーが盛んなことなども同じで、福井とイタリアは、異なるようで似ているところが不思議にあるようです。

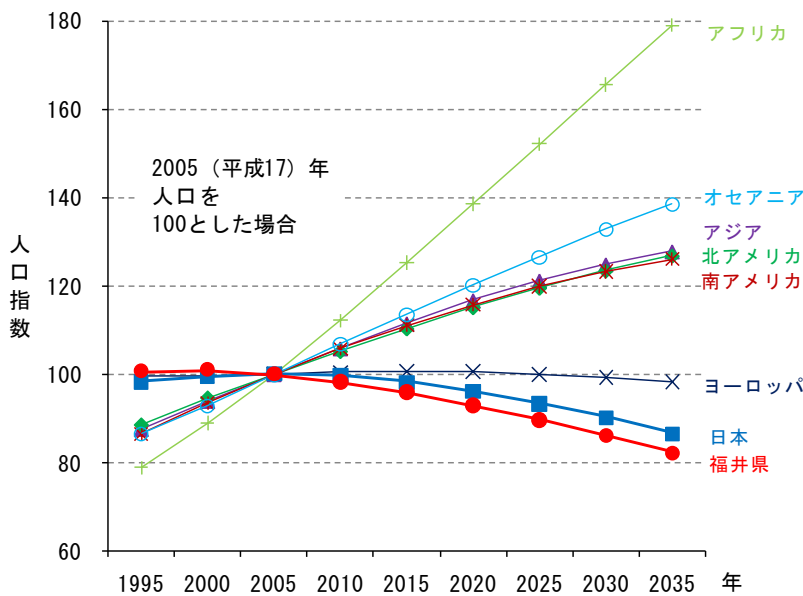
※ 出典：日本、イタリアは「世界の統計2010（総務省統計局）」掲載の2007年WHOデータ  
 福井県は「社会生活統計指標（総務省統計局）」掲載の2005年データ

○「増加する世界と減少する日本、福井県」（人口の過去・現在・未来）

福井県と世界の主要地域の今後の人口の推移を見てみると、今後アジアをはじめ、多くの地域で人口増加が見込まれる一方で、福井県や日本の人口は減少していくという予想が出ています。

また、高齢者（65歳以上）人口の割合の推移を見ると、日本はすでに世界トップの国になっており、年少者（15歳未満）人口の割合の推移をあわせてみると、今後、少子高齢化がますます進展していくことが予想されています。

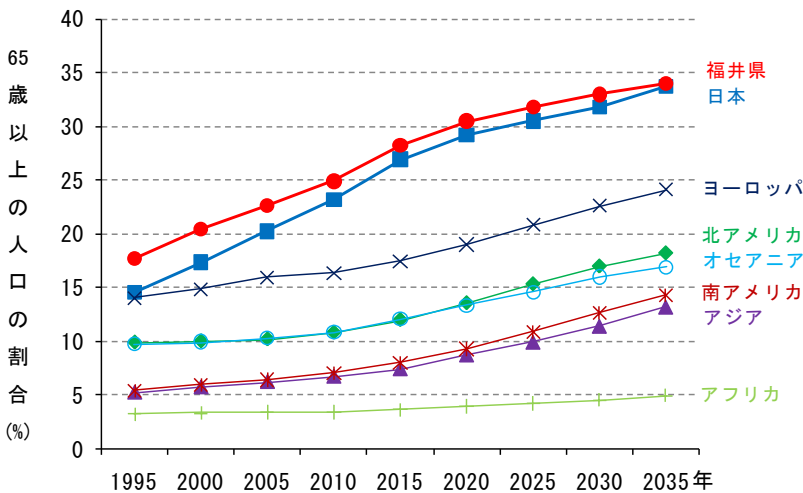
<福井県、日本と主要地域の人口（指数）の推移>



	単位:千人	
	2005年	2035年
福井県	822	676
日本	127,768	110,679
アジア	3,936,536	5,032,489
北アメリカ	520,029	659,514
南アメリカ	371,658	468,111
ヨーロッパ	729,421	716,190
アフリカ	921,073	1,647,781
オセアニア	33,559	46,485

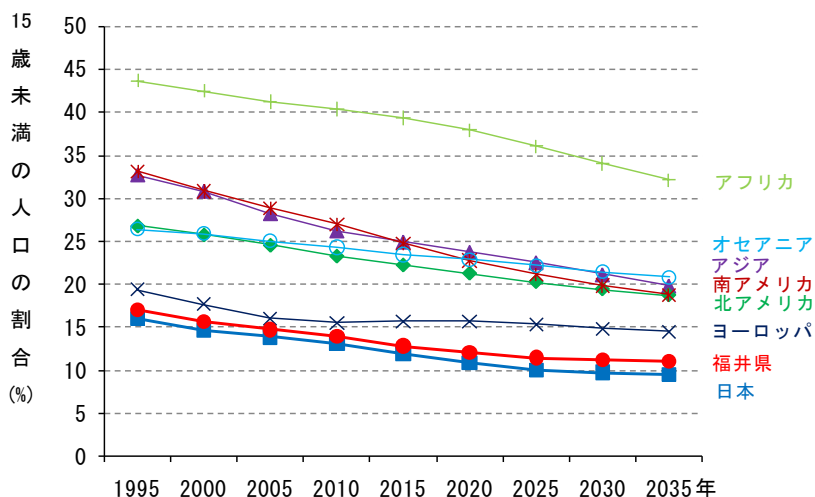
※ 出典：日本および福井県の人口は、国勢調査データ（1995～2005年）および国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の中位推計値（2010～2035年）。世界の人口は、国際連合人口部の2008年の中位推計値。

<65歳以上人口割合の推移（福井県、日本、主要地域）>



	単位:%	
	2005年	2035年
福井県	22.6	34.0
日本	20.2	33.7
アジア	6.2	13.2
北アメリカ	10.2	18.2
南アメリカ	6.4	14.3
ヨーロッパ	15.9	24.1
アフリカ	3.4	4.9
オセアニア	10.2	16.9

< 15歳未満人口割合の推移（福井県、日本、主要地域） >



単位: %

	2005年	2035年
福井県	14.7	11.0
日本	13.8	9.5
アジア	28.2	19.8
北アメリカ	24.5	18.6
南アメリカ	28.8	18.7
ヨーロッパ	15.9	14.4
アフリカ	41.2	32.1
オセアニア	25.0	20.8

※ 出典：日本および福井県の人口割合は、国勢調査データ（1995～2005年）および国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の中位推計値（2010～2035年）。世界の人口割合は、国際連合人口部の2008年の中位推計値。

このような状況を踏まえ、福井県や日本では子育て対策などに積極的に取り組んでいます。これらの取り組みの成果を見るうえでも、国勢調査を通じて日本の正確な人口や世帯を把握し、そのデータを施策に活かしていくことの重要性はますます高まっています。

○「深まる周辺諸国との関係～2010年日本 APEC エネルギー大臣会合開催～」



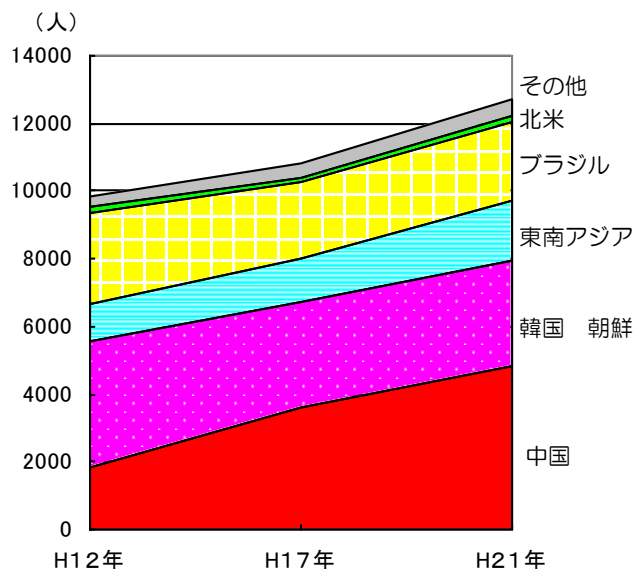
6月19日から20日にかけて、福井県で2010年日本 APEC エネルギー大臣会合が開催されます。

この会議には、アジア太平洋地域の21の国・地域の参加が予定され、各国・地域の数字を合計すると、国内総生産では世界全体の約5割、人口では世界全体の4割を占めるといわれています。

今回会議に参加する国・地域からは、中国などアジアを中心に多くの人々が福井県を訪れ、また、経済的にも福井県とこれらの国々・地域の多くが緊密な関係にあります。

今回の会議開催を通じ、近隣諸国との関係がますます深まっていくことが期待されます。

< 福井県で生活する外国人の推移 >



< 福井県で生活する外国人の国別内訳 >

		総数	インドネシア	韓国朝鮮	タイ	中国	フィリピン	ベトナム	米国	カナダ	ペルー	ブラジル	ロシア	オーストラリア
外国人人口 (人)	H12年	9,861	125	3,740	142	1,840	640	172	112	28	108	2,693	46	21
	H17年	10,803	58	3,109	134	3,617	982	69	101	21	68	2,250	83	17
	H21年	12,716	113	3,158	205	4,804	1,255	132	144	28	88	2,338	118	22

※出典：平成12年、17年は国勢調査「外国人特別集計」（総務省）、21年は平成21年12月31日現在の外国人登録者数（県国際マーケット・戦略課）

<2010年日本 APEC エネルギー大臣会合参加国・地域>

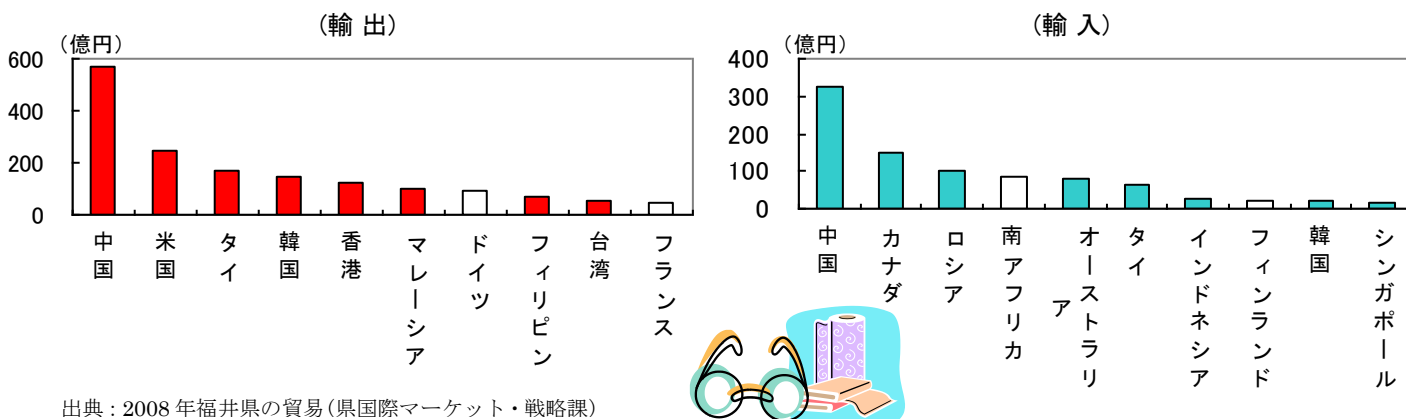
<主な参加国の人口密度と一人当たり国（県）内総生産>



	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	一人当たり 総生産(米ドル)
福井県	195	35,564
日本	343	34,307
米国	31	44,933
カナダ	3	43,488
中国	138	2,650
韓国	486	21,758
シンガポール	6,508	37,633
タイ	129	3,852
フィリピン	296	1,638
ロシア	8	9,083
オーストラリア	3	45,671

出典：「世界の統計 2010（総務省統計局）」  
 ・人口密度…2007年  
 ・一人当たり国内総生産…2007年（福井県は2007年度）

<福井県の地域別・主要国別輸出入額（上位10カ国・地域）（平成20年）>



出典：2008年福井県の貿易（県国際マーケット・戦略課）



今年10月1日に、  
 「平成22年国勢調査」を実施します。

今回紹介した福井県や日本の人口のデータは、すべて国勢調査で得られた情報が基礎となっていますが、このような形の調査は世界の多くの国で行われています。

国際連合では、食料、エネルギー、環境などの地球規模の諸問題に適切に対応するため、世界各国に2010年を中心として一斉に人口センサス（国勢調査）を実施するよう勧告しています。

この勧告は、「2010年ラウンド世界人口・住宅センサス」計画と呼ばれ、人口センサスの基本的な役割、定義、基本原則、調査方法、調査事項などが記述されており、この計画には日本を含め、世界の200以上の国・地域が参加しています。

このように世界各国が足並みをそろえて行う国勢調査は、日本と世界各国の関係を初め、いろいろなことがわかる国の最も基本的で大切な統計調査です。どうぞよろしくをお願いします。

